



# ゆう



写真:荒川泰三さん

## ぐらり出かけよう! 京都随一、紅葉の名所永観堂(禅林寺)へ!!

京都を代表する紅葉の名所「永観堂」は広い境内にイロハモミジやヤマモミジが沢山あり、見事な紅葉を楽しむ事ができ、見返り観音も拝観できます。蹴上→南禅寺→永観堂→哲学の道→銀閣寺のコースがお勧め。(観光客が多く早朝出発が良い)

【アクセス】JR京都駅から市バス5系統で「南禅寺永観堂」下車、徒歩3分。又は京阪三条から地下鉄東西線に乗り換え「蹴上」下車、南禅寺を經由して徒歩15分。

【紅葉時期】 11月中旬～下旬

### Page Guide

私の今日この頃

8 ページ



#### 地域力の発信

北井 勲さん

(会員番号 2724)

奈良の歴史や文化に育まれ潜在する、地域の特徴ある素材や匠の加工技術を生かした商品をデザイナーの視点から、展示会をプロデュース、更に奈良新聞からの依頼でコラムを連載、もの作りの在り方を知って欲しいとの思いを込め、「ならものこころの旅」を出版。

- 高野山追悼法要 育徳園支援活動 2 ページ
- ハガキミニアンケート 「社友会に望むこと」 3 ページ
- 私と同好会の楽しい仲間たち 4 ページ
- 将棋クラブ・ロダンの会 5 ページ
- SS フォトクラブ 5 ページ
- 健康第一シリーズ「骨折」について 6 ページ
- 骨折予防と骨粗しょう症の予防 6 ページ
- 新入会員の紹介 7 ページ



### カッコ良く生きたいネ!!



年齢を重ねると、何事にも拘りをもって意思を曲げず頑固になる人と、逆に何事にも拘らず、無関心を装う人に分かれるらしいでんな……当然中間派の賢明な人もいるのやが、あなたは何派に属しまっかな？

問題は何人も齢と共に大なり小なり、お頭の働きが衰えて来ていることに気付いていない場合が多いということ でんな……私は大丈夫と思っているあなたは、失礼ながら要注意と言っておこう。

世間には高齢であっても凛として活動されている方も大勢居られますが、何れも専門分野で永く継続して活躍されている経済人や学者、芸術家の場合が多く、政治家の中には可笑しいのも居てまん……

我々凡人の場合、錆びた頭で頑張り続けるのは「百害あって一利なし」の例えに習い、若い人との世代交代を行うのが賢明と思いまへんか……

戦後の日本を統治し、日本国民からも慕われ吉田茂政府から名誉国民の称号の打診もあつたマッカーサーは「老兵は去るのみ」と言い残した。

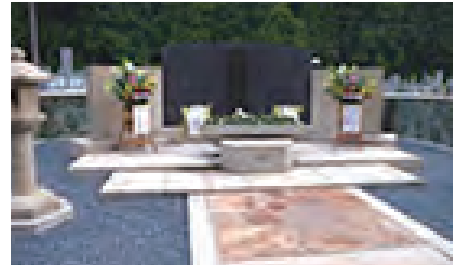
話を戻せば、頑固派は大した事でも無いのに自分の意思、思い込みを決して曲げず、周りの空気が読めず、傍迷惑な人が多いし、何事にも拘らずまァエエカ〜?と妥協する人は、大事な時に役に立ちまへんな……

齢をとると周りとの調和を大切にせなあきまへん。お寺の門前に「人生とは「頂いたご縁を」大切に生きることである」と書いてあつた。その為にも酒楽一幸も世代交代で筆を擱きます。長い間お読み頂き有難うございました。

“偉そうな事言いはんな 合掌”  
— 酒楽一幸 —

# 高野山供養廟 追悼法要式 が行われました

恒例のシャープ物故社員及び社友会物故者の追悼法要式が8月6日(火)高野山で執り行われました。本年は新合祀67柱(内、社友会新合祀50柱)と3回忌29柱の合祀が行われました。(合祀者の累計は1596柱になります)



参列者は、ご遺族40名と会社からは奥田会長と他1名、労働組合の代表2名と、社友会からは御手洗会長と真副会長の2名が代表として参詣しました。参列者はシャープ本社からバスで高野山に向い、菩提寺の「西南院」で法要が行われました。

「西南院」和田住職による読経の中、参列者全員による焼香と祈念が行われました。その後、奥田会長から祭詞が読み上げられ、厳かな中、法要式が無事終わりました。その後、全員が奥の院へ移動し「供養廟」で参詣と献花を行い、全ての次第が無事終了しました。



奥田会長による祭詞読み上げ



社友会会長、副会長による献花



社 友 会  
社会貢献活動



## 「育徳園」 ボランティア活動

社友会の社会貢献活動は、シャープグリーンクラブとの共催による里山保全活動のほか、社友会独自の取組みとして「育徳園」へのボランティア活動にも取り組んでいます。

「育徳園」は、シャープの創立者である早川徳次氏が1954年、女性の社会進出の一助にと創設した保育所です。

(25年度入園児約170名)

その後、「育徳園」は保育所のほか、いくとく学童保育所、高齢者デイサービス(いくとくⅡ)及び特別養護老人ホーム(いくとく)などの施設を運営しています。社友会では、同好会や個人有志の協力を得て、学童保育教室では、卓球やペーパークラフト、将棋など、また、いくとくⅡでは絵手紙、マジック、折り紙など、特養ホームではハワイアンバンド、車椅子の空気入れなどのボランティア活動を行い、入所者やスタッフには大変喜んで頂き感謝されています。



折り紙(いくとくⅡ)



ペーパークラフト(学童教室)



将棋(学童教室)



ハワイアンバンド(特養)



車椅子空気入れ(特養)

# はがきミニアンケート 「社友会に望むこと」

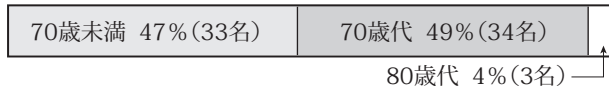
社友会活動は会員皆様方のセカンドライフをより充実したものとする為のお手伝いとして、定期総会での運動方針に基づき、同好会活動をはじめ、種々の活動を展開しています。

より身近な活動となる様、皆様のご意見やご要望をお聞きし、活動に反映させ、質を高めると共に、活性化を図りたいと考えております。一層のご協力をお願い申し上げます。

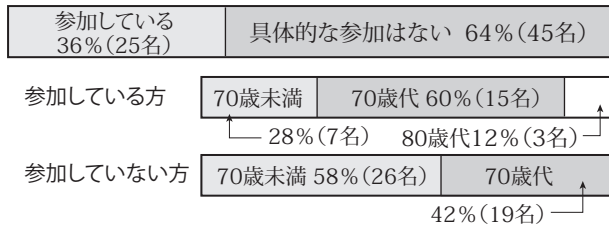
今回は70名の方にご協力を頂き、集計致しました。

- ・社友会活動に参加している人は36%で、70歳以上が7割参加していない人は64%で、約6割が70歳未満の方です。
- ・社友会への不満足度は1割あり、対策が必要です。
- ・社友会に会社の情報を望まれる方が多い。
- ・不参加者の理由は多岐に亘るが、検討課題と致します。

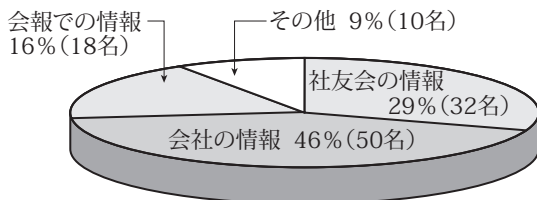
## ■回答者の年代別(70名)



## ■現在「社友会活動」に参加されていますか



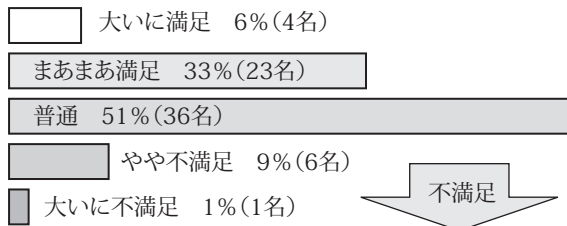
## ■社友会に何を望まれていますか(複数回答)



その他

- ・仲間意識による連帯感 3名
- ・役員会における建設的な行動 2名
- ・年金、保険の情報
- ・一緒に働いた人の安否
- ・外部俳句活動への参加
- ・業界動向が欲しい
- ・会社への恩返しの場合

## ■現状の社友会活動に満足されていますか

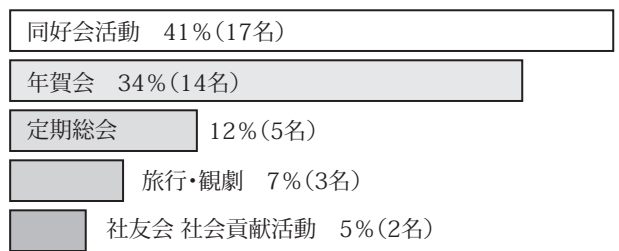


- ・会社の現状がまったく分からない
- ・自分の趣味にあった同好会がない
- ・年齢差があり、話題が合わない
- ・村社会的な活動となっているように感じる。

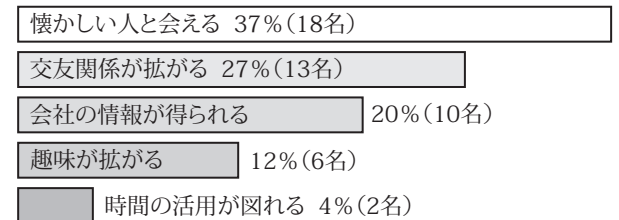
## ■健康状態は



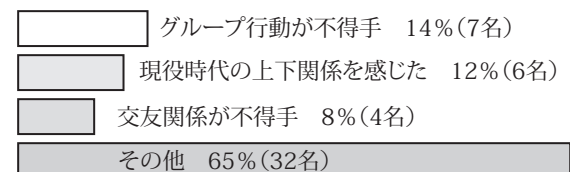
## ■どのような活動に参加されていますか(複数回答)



## ■参加している方 どのようなお役に立っていますか(複数回答)



## ■参加していない方 その理由は(複数回答)



### その他の理由は

- ・興味のある活動がない 4名
- ・健康上の問題 3名
- ・住所が大阪より遠距離のため 2名
- ・他にグループ活動をしている 2名
- ・社友会以外にシャープ関係のつながりがある 2名
- ・忙しくて時間がない 2名
- ・自由に生きるのが一番
- ・会いたくない人が多数いるため
- ・社友会以外の人との交流がある
- ・特定の人が集まりになっているような気がする
- ・地域の人とのつながりを大切にしている
- ・特に理由なし
- ・気を使うため
- ・面倒なため
- ・仕事をしている

## ■暮らしの近況短信(敬称略) (記名頂いた方の中から抜粋掲載)

- ・小さな町の自治会長を担当して2年、日々住民の方々と融和、和合をもって、住み易い地域づくりの為に取組んでいます。(三宅義一)
- ・週3日近くの会社に勤務、月2~3回OBや町内会の人達とゴルフを楽しみ、地域ボランティアにも参加、充実した日々です。(中山敏之)
- ・昨年末家内も定年になり、勤務中は出来なかった私(広島)と家内(熊本)の親孝行や孫宅へ行ったりで、ゆったりと過ごしています。(妹尾洋治)
- ・硬式とラージ卓球を楽しんでいる。インターネットで写真を販売し、もっと売れるように努力している。株が下がりゴルフは月1回。(宇鷹真一)
- ・65歳から習字手習いや詩吟習い、町内シルバー人材を通じたボランティア活動と忙しくも楽しくやっています。(音羽 豊)
- ・地域NPO町づくり自治会、老人会、公民館活動、地域生きがい教室、自主防災組織等で地域社会の貢献活動をやっています。(谷井正明)
- ・週3回のデーサービズで楽しく過ごしています。車椅子生活の為、社友活動には参加できていませんが、愛社心は今も変わらず。(富宅 肇)
- ・楽しく気ままに暮らしています。ゴルフをしたり読書、音楽を聴いたりスポーツ観戦、孫のお相手も……。 (山田祐三)
- ・普段は郡山の自宅で子、孫と暮らしています。伊賀市の別宅へは時折帰り田舎用件を済ませ、年齢に応じて健康に暮らしています。(橋本隆康)

◎現在、社友会活動の柱である同好会は23あります。本部会員3,213名の内、参加されている方は延べ789名で重複者を除くと、実質参加者は529名で16%、まだまだ少ない状況にあります。あなたのセカンドライフをより充実させる為にも、是非あなたも趣味に合わせ、友人と誘い合って気軽に参加してみても如何でしょうか。特に70歳未満の方の活動参加をお待ちいたします。

# 私と同好会のたのしい仲間たち 個人の同好会との繋がり・楽しさ・面白さを紹介します。



## 将棋クラブ

広瀬浩一さん  
(会員番号 756)



### 将棋を覚えて79年！

私が始めて将棋を知ったのは、小学校1年生のときに父に教えて貰った時である。昭和9年の小学校の文集に「オトウサン」と題する1年生の私の作文が掲載されている。冒頭だけを記すと「オトウサンハ、イツデモボクトショウギヲシヤウトイッテシタラ、ボクガマケテバカリキマス。……」

そんな環境で育ったためかそこそこの棋力がついてた。シャープ入社後、早川徳次社長がお好きなこともあって終業後会議室で10数名のメンバーが集まり「将棋会」があったが一目おかれるような存在になり、昭和26年頃だったか年末の大会で優勝し、賞品にラジオを買った記憶がある。

昭和40年頃田辺工場に勤務していたが将棋の好きなメンバーが数人おり、プロの先生に指導して貰った。

「初段は十分ある、ちょっと甘い、まあ二段はいけるやろ」こんな言葉で二段の免状を買ったのが昭和43年1月である。

その後は仕事が多忙となり退職する平成7年まで駒に触れる機会は殆どなかった。

社友会に入ると同時に将棋クラブに入会したが当時の世話人は経沢崇泰さん(故人)であった。

お互いに知り尽くした間柄である。「オウ、待ってた」とばかり世話人を押し付けられ、以後現在まで18年続けている。

この原稿が記事になる頃私は86歳になっているが近年棋力の落ちていることは否めない。然し将棋に対する愛着は衰えていないと自負しており、生涯の趣味として続けて行きたいと思っている。



## ロダンの会

相川正彦さん  
(会員番号 1053)

今年4月12日に13名の会員で「ロダンの会」が発足しました。「ロダンの会」とは何をする会ですか？とよく聞かれます。

そもそも発足のいきさつは、社友会の仲間たちとの雑談の中で、同好会活動は退職者の呆け防止になってありがたいと話していた時、誰かが頭を働かせる事を目的とする会が有っても面白いのではないかとの話にいたり、そんな会とはな～??

それなら家庭生活を便利に楽しくする為に頭を働かせる会はどうだろうか。それは「アイデア」を持ち寄って検討するグループだろう。

名前は??? 色々考える人の会だから「ロダンの会」だ!! 大きく出たな。

だったら「家庭生活でのアイデア」と分野は限定する必要はないだろう。

だんだん話は大きくなって、ともかく創ってみよう。集まったメンバーの得手不得手が有るだろうから、分野は自ずと決まる……と言う事で始まりました。

最初に集まったメンバーは多種多様で専門的な経験を積んだ人たちなので、出てくるアイデアの内容が理解できるかなと心配でした。

しかし、開催はまだ数回ですが、家庭生活からITの専門分野まで、幅広いアイデアが飛び出し毎回の例会は大変楽しく、時間はあっという間に過ぎてしまいます。

ホームページも立ち上がったばかりで、まだ不完全なところも有りますが、許される範囲で提案された「アイデア」はホームページの中でご紹介して行きます。面白いアイデアが見つかるかも知れませんのでご期待ください。



.....  
 いつでも体験見学ができますので、社友会事務局までお問い合わせください。  
 TEL 06-6625-3171  
 .....



## SS フォトクラブ

後藤 忠臣 さん  
 (会員番号 4211)

### カメラを持って出かけよう！

写真と言えば、もっぱら家族写真や、旅行の記念写真しか写してきませんでした。

親友から「写真クラブに入会してみたら」と勧められ、2010年にSSフォトクラブの門を叩きました。旧所属も異なり不安でしたが、お互いシャープOBと言うだけで、すぐに会員の皆さんと打ち解ける事が出来ました。

毎月の例会では、会員の自信作を投影し、湯村先生から講評して頂いています。基本から、応用までの分かり易い指導を受けるうちに、カメラを構えた時に、構図・メインの被写体の位置・背景のボケ等を意識するようになってきました。

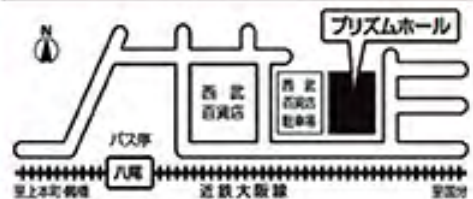
2か月毎に行われる撮影会、年一回の一泊撮影旅行など会員の皆さんとの様々な情報交換も楽しみです。



これ何だろう！……

写真の「ボケ」はテクニックですが、私たち自身の「ボケ」は避けたいものです。SSフォトクラブでの活動は脳の活性化にも効果大だと思っています。今からでも遅くありません。SSフォトクラブに入会し、楽しいカメラライフを始めませんか。

今年もSSフォトクラブ写真展を開催します。フォトクラブの日頃の活動も紹介させていただきます。是非ご来場いただきますよう、お待ちしております。



### ◆出展者

- |          |       |
|----------|-------|
| 青木 淳二    | 浅野 哲夫 |
| 石野 文興    | 枝広 敏男 |
| 岡田喜久男    | 荻田 倫明 |
| 奥田 幸央    | 門川 治雄 |
| 神田 和一    | 菊池 睦  |
| 城戸 雪夫    | 木村 親里 |
| 児島聖太郎    | 後藤 忠臣 |
| 崎山 喬     | 志田 政広 |
| 辰見 公夫    | 中上 治美 |
| 馬場 一精    | 廣田 直昭 |
| 藤田 宏祐    | 前野 敏治 |
| 松浦 照     | 三ツ井正之 |
| 盛田 恕正    |       |
| 指導 湯村 光男 |       |



昨年の写真展から



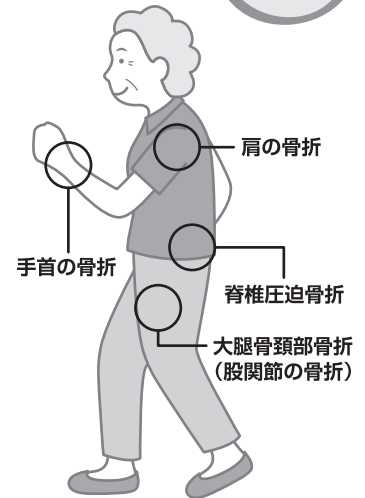
# 健康第一シリーズ〈第11回〉『高齢者の骨折』

年齢を重ねるごとに「健康への不安」が生じてきます。これに立ち向かうために耳寄り情報等をシリーズで掲載します。

高齢者の骨は若い人に比べてもろくなっています。わずかな外力で骨折しやすく、また治りの遅いのが特徴で、「転倒・骨折」は寝たきりの原因の第3位といわれています。この秋は、すこしでも骨折しづらい身体づくりを心がけましょう。年齢を重ねていても、トレーニングを行うことで筋力を維持し、増強も期待できます。転ばぬ先の杖、日頃から転びにくい身体と環境を作るよう心がけましょう。

## ■ 高齢者にとくに多い骨折の部位と症状

骨折部位	症状
・椎体(背骨)の骨折 (骨粗鬆性椎体骨折)(脊椎圧迫骨折) ・背骨のうち、胸椎と腰椎の間あたりに起こることが多い	・寝がえりをうったり起きるときに背中や腰が強く痛む ・足が動かしにくい ・排尿困難を伴う場合もある
・肋骨の骨折	・咳をすると胸やわき腹が痛む
・手首の骨折 (橈骨遠位端骨折) ・前腕の2本の骨のうち、親指側の骨の手首付近	・手首の痛み、腫れ、動かせなくなる、曲がらない方向に曲がるなど
・股関節の骨折 (大腿骨頸部骨折) ・太ももの骨と、骨盤との接合部分に近い部分	・立ち上がれない、歩けない、歩こうとすると股関節や足の付け根周辺が痛い
・骨盤の骨折	・歩けない、起き上がれない、骨折部からの出血によるショック、排尿、排便困難



※すべての骨折の原因として、骨粗鬆症による骨密度の低下で骨がもろくなっていることがあげられます。

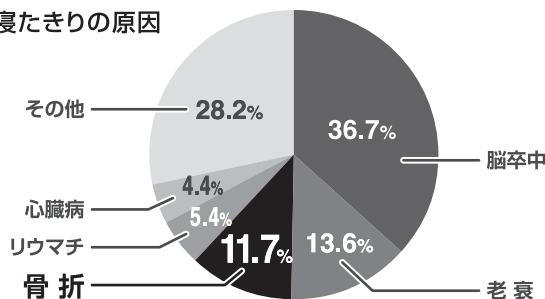
## ■ 転倒・骨折しやすい場所

事故の起きやすい場所	対策
階段	・自宅の階段・段差に手すりをつける ・階段に滑り止めをつける・カーペット敷きにする ・必ず手すりに手を添えて降りる習慣をつける
室内の床	・フローリングに薄いカーペットを敷きつめる ・滑りにくいワックスなどを使う ・こぼした水、踏んで滑るようなものはすぐ除く
トイレ	・手すりをつける ・便器の前にラグなどを敷かない ・十分な明るさの照明器具をつける
浴室	・滑りにくい床材に変える ・滑り止めのマット等を敷く ・浴室内に手すりをつける
ベッド	・高さを、腰かけて両足がしっかり床につく高さに調節 ・ベッドの側面を壁につける ・立ち上がる時利用できるベッド柵をつける

## ■ その他の注意点

- ・衣類は裾を踏まない長さで、裾のからまない動きやすい服にする。
- ・スリッパ、サンダルなどは履かないようにする。靴は、ヒールが低く、底の滑りにくい、足に合ったひも靴、運動靴を選び、きちんと履くこと。
- ・物をまたいだり、不安定な物につかまったりしない。
- ・片足でくつ下などははかない。

## ■ 高齢者の寝たきりの原因



## ■ あなたの骨の健康度は…

### 骨の健康度チェック

身体のごあい		
1	最近背が縮んだ	はい いいえ
2	最近背中が丸くなったり、腰が曲がってきた	はい いいえ
3	ちょっとしたことで骨折した	はい いいえ
4	体格はどちらかといえば細身だ	はい いいえ
5	家族に骨粗鬆症と診断された人がいる	はい いいえ
6	糖尿病だったり、胃や腸の手術を受けたことがある	はい いいえ
7	閉経を迎えた(女性) 70歳以上である(男性)	はい いいえ
8	若いころから月経が不順だ(女性)	はい いいえ

### 暮らしぶり

9	牛乳や乳製品をあまりとらない	はい いいえ
10	小魚や豆腐をあまりとらない	はい いいえ
11	タバコをよく吸う	はい いいえ
12	お酒をよく飲むほうだ	はい いいえ
13	天気のよい日でもあまり外へ出ない	はい いいえ
14	運動はもちろん身体を動かすことが少ない	はい いいえ
合計		( ) ( )

### 骨の健康度診断

はいの数はいくつありましたか。  
あなたにあてはまる項目をご覧ください。

2つ以下	現時点であなたの骨は健康と考えてよいでしょう。このまま今の生活を続けましょう。
3つ以上	骨が弱くなる可能性があります。今から将来のことを考えて、暮らしぶりに気をつけましょう。
6つ以上	骨が弱くなっている可能性があります。骨を強くする暮らしぶりを取り入れましょう。
10以上	骨が弱くなっていると考えられます。転ばないように暮らしぶりを見直してください。一度医師診察を受けてみてはいかがでしょうか。

(出典:『丈夫な骨でいきいきライフ』骨粗鬆症財団発行より引用)



社友会新入会員

2013年6月1日～2013年8月31日

同好会へのご入会をどうぞ!

所属	No.	氏名	所属	No.	氏名	所属	No.	氏名	所属	No.	氏名
	6168	岡本 健	広島	6176	河野 俊治		6184	上根 政一		6192	谷川 雅信
東北	6169	大須田 裕己		6177	鳥居 幹夫		6185	岡田 正剛		6193	吉田 力
東北	6170	阿部 誠喜		6178	森田 昌宏		6186	宮堂 一夫		6194	東田 至弘
東京	6171	伊藤 優生		6179	林 元日古	東北	6187	大高 協栄	東京	6195	川田 昇二
広島	6172	盛脇 由次		6180	太田 賢司	中部	6188	辻 和夫	東京	6196	茅岡 日佐雄
	6173	井淵 良明		6181	菅野 信行	広島	6189	佐々木 文雄	東京	6197	山田 和夫
栃木	6174	林 二郎		6182	小西 正幸	広島	6190	田窪 喜男	九州	6198	矢岡 博信
東京	6175	成田 秋夫		6183	内藤 裕幹		6191	稲山 豊	(所属の空白は本部会員)		



「おもしろ書道」書道展のお知らせ

◎10月14日(月)～11月8日(金)まで、  
(土・日曜・祝祭日を除く)  
時間：午前10時～午後3時  
場所：社友会事務所会議室で開催します。  
(本社田辺ビル5階)

書道サークルのメンバーは、毎月1回井上先生のご指導を頂き頑張っています。今回は日頃の成果を一堂に集め、展示しております。

楷書、行書、草書から隷書、かなまで個性ある作品がいろいろ。出来るだけたくさんの皆様のご来場をお待ち致しております。 北田秀人

錦秋の中之島・中央公会堂  
第12回創友会展をご覧ください。

今年は……11月14日(木)～18日(月)  
AM10:00～PM6:00 (最終日はPM4:00迄)



- 出品者 ※順不同  
安平守治(油絵) 三宅雅夫(水彩)  
高嶋輝男(陶芸) 鮎川 功(油絵)  
森みな子(油絵) 井上輝好(書)  
岩崎公誠(写真・造形)  
浦 芳史(写真・水彩)  
佐野算昭(写真) 橋本嘉昭(日本画)  
宮本登喜子(油絵) 菅谷吉雄(水彩)  
北井 勲(造形)

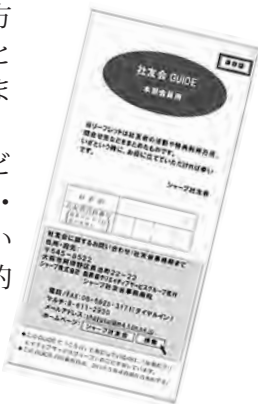
■初日は準備のためPM3:00からの展示となります。  
■会場：大阪市中央公会堂・地下展示室  
(地下鉄淀屋橋1号出口から4分)

詳しくは案内はがきをご覧ください。

社友会GUIDE(本部会員用)  
配布のお知らせ

社友会の活動や特典・利用方法、各種問合せ先などをまとめたリーフレットを作成致しました。

従業員販売制度、修理サービス等各種特典内容、問合せ先・手続き方法などを記載していますので、ご確認頂き積極的に活用ください。  
会報 99号に同封しています。



社友会事務局

編集室から

♠終活ということばが、新聞・雑誌で盛んに使われている。人が最後まで自分の意志で「よく生きる」ことを、目指したいという意味を含んでいて、ことばとしては就活、婚活などから派生してきたもの。

♥お互いに自らの頭で考えた「終活」で、この先の人生を可能な限り、いきいきと過ごしたいものだ。

(IWA)

●会報「ゆう」に新編集委員に2名参加……

2人とも新しい目で「会報」づくりに励みたいと意欲満々である。これから「ゆう」に新しい記事と新しい企画が期待される。



北田 秀人さん  
(会員番号 4545)



大槻 一夫さん  
(会員番号 5928)

在社中は宣伝部やブランド戦略のトップリーダー。現在の趣味は、書道・水泳そして卓球・ドライブと……幅広い。

在社中は旧電化、亀山、堺とモノづくりの先端で、生産技術、管理のベテランだった。趣味として水彩画を始めていま～す。

表紙「ブラリ出かけよう」の写真を募集しています。詳しくは11月の社友会ホームページをご覧ください。採用分には薄謝進呈。

- ◎あなたの身近なニュースを送ってください。
- ◎送り先……シャープ(株) CSG 気付  
シャープ社友会 会報編集室 ☎06-6625-3171(直通)

ご冥福をお祈りします

平成 25 年 6 月 1 日 ～平成 25 年 8 月 31 日 敬称略

所属	会員番号	お名前	享年	ご逝去日
	210	竹森 昭	66	平成 25 年 6 月 10 日
広島	823	小倉 幹男	77	平成 25 年 6 月 25 日
	313	今谷 信男	84	平成 25 年 7 月 2 日
	2351	荒川 兼次	71	平成 25 年 7 月 10 日
九州	4055	友重 正志	66	平成 25 年 7 月 24 日
	975	杉田 保	77	平成 25 年 8 月 9 日
	397	藤井 章	83	平成 25 年 8 月 21 日

私の今日の頃

# 地域力の発信

北井 勲さん

(会員番号 2724)



## ● はじまりはミラノから

2004年イタリアのミラノ商工会議所で関西の中小企業の紹介をデザインの視点で捉えた展示会をプロデュースしました。関西の伝統的な産業を中心に各社の特徴を活かした展示を行ったのです。素材・加工技術・商品の3点セットでミラノの人々に見ていただくことができました。この事が私に火をつけることになり地域の潜在している産業をどうするかにその後繋がって行く事になりました。



プロデュースしたミラノデザイン展



奈良の素材をギフトショーに出展



奈良ブランドフォーラムを実施

## ● 奈良の素材を活かす

ミラノ展と併行して吉野のジャパンブランドのプロジェクトに参画する機会を得て吉野での吉野杉や和紙を活用し、素材の在り方を考え直し展開することになり2007年に東京でのギフトショーに出展し海外の人々の興味を惹く素材と商品を見て頂く事が出来ました。

## ● 奈良を巡る

その後、奈良の地方紙である奈良新聞から依頼を受け、暮らしの中の奈良ブランドというタイトルで月2回のペースでコラムを担当し78回の連載を3年間行いました。その結果を2011年に記事と商品を一堂に集め展示会とフォーラムを行い奈良にはこのような歴史や文化の流れの中で育ってきた他府県とは異なる特徴のあるものに溢れている事を知ってもらおうきっかけになったように思っています。

## ● 思いを伝える

その一年後、この取材を基にして出版を計画し、更に多くの人々に奈良のものの作りの在り方を知って欲しいとの思いを込めて制作に当たりました。文章の見直しから始まり、写真の追加取材を行うこと半年、ようやく2012年冬至の日に完成しました。退職後、今年で10年を迎えますが、その結果、この本に繋がったかなと思っています。



『ならものこころの旅』  
刊:冬至舎

## ● モノ作りの在り方

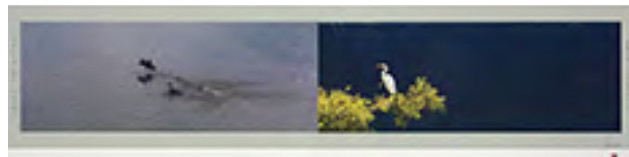
モノ作りの本来、考えなければならないことを学ぶ10年でもあつたように思っています。只々ものを一方的に大量に生産して消費者に売るのは無く、日本の自然や歴史や文化に育まれた豊かな環境を壊す事無く、更に活かす手法でモノの在り方を基本的な考えとして捉えながらあらゆることを包含し、進めて行きたいものです。地域からの発信を基盤として取り組むべきであると考えています。その為にも、自分の感性の磨き方が重要であり、自身の創作活動も併行してやらなければならないと思っています。

## ● 創作の源

「創友会」での作品づくり、茨木美術協会での創作活動も私の重要な課題でもあるのです。立体は素材の活かし方、写真は自然や地域への視点の訴求と言う形で捉えています。



路傍の石を穿ち、木屑を削り漆で仕上げ、金属屑を削り作った作品 (環境への視点)



奈良ブランド取材中に撮影した写真その1 (地域の自然への視点)



写真その2 (モノ作りの原点・一次産業への視点)

## ● 自分の身体の維持

体力をどのように維持し、仕事に立ち向かうかが今後更に考えていかなければならない事ですが、今年の暑い夏も何とか乗り切る事が出来ました。身体を動かし、汗をかき、身体を休め(昼寝)よく食べる。今になって小さい頃、祖母の家で夏を暮らしていた時のことをよく思い出します。昼食後、祖母は昼寝を絶対に欠かさなかったことです。祖母の年齢での暮らしのリズムだったので。小さい頃はそれがよく解らず、遊びに飛び出しては叱られていましたが…。

自身の生活のリズムをしっかり身につけて行動することが今更ながら強く感じた夏だったように思っています。皆さんもまだまだやらなければならない事が山積みだと思います。好奇心を持ち続けることも大きな助けになると思っています。

## ● これからは

今年は年初から古民家再生のお手伝いを三カ所行っています。奈良三郷のかつては村の鍛冶屋さん、大阪茨木の山奥の友人の古民家を活かしたカフェ、最近では奈良室生の深野の里山にある古民家を陰ながら支援しています。何れも古民家の活かし方をシンプルな思考で進めています。地域の自然、歴史文化、暮らしを考えながら現代に生きる私たちを絡み合わせながらモノの有り様について模索を重ねたいものです。